

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 2 2 7	受 理 年 月 日	令 和 5 年 2 月 10 日
件 名	学校給食費の無償化		
要 旨	<p>2021年の1年間で、京都市の人口が約1万2,000人少なくなり、全国の市区町村の中で最も減少していたことが総務省の調査で判明した。減少数最多となったのは2年連続である。とりわけ、子育て世代の流出が深刻である。子育て世代の流出する自治体は、子育て支援策の後れが目立つと指摘されている。</p> <p>学校給食は家庭で不足しがちな栄養が補えるように設定され、骨が成長する中学生時代に栄養バランスの取れた給食を食べることは、体の成長・発達だけでなく、子供に安心感を与える。</p> <p>物価高の影響で、暮らしは大変厳しい状況が続いている。また、自治体では給食の原材料の値上げなどで給食費を上げなければならないとの声も上がっている。京都府では、子育て支援の一環として給食費への補助の予算を2023年度に計上・提案した。全国でも全額補助や一部補助、3人目から無償など、自治体の取組が広がっている。</p> <p>給食費は、副教材費など義務教育に掛かる様々な費用の中で最も重い負担となっている。給食費無償化への願いは切実である。憲法第26条は、「義務教育は、これを無償とする」と明記している。給食は教育の一環であり、子供たちの健康と成長の支えである。</p> <p>ついては、京都市でも給食費の無償化を実施するよう願う。</p> <p>なお、本請願について、668筆の署名を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	井上けんじ、森田ゆみ子、くらた共子、河合ようこ、鈴木とよこ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		